

ミスに泣きサヨナラ負け

駒大4-5青学大

2回戦

11年秋季リーグ
第2週・9月14日
0勝2敗

勝ち点0の最下位へ……



駒大	002	110	000	0	4
青学大	020	002	000	1×	5

2点差をつけて迎えた6回、先発・井口拓皓(経3)は2点本塁打を浴び、同点に追い付かれる。さらに延長10回、2死二塁で三星ゴロを白崎浩之(法3)が一塁へ悪送球。サヨナラ負けを喫し、2節連続で勝ち点を落とすこととなった。

【駒大】	打安点
④小林	410
⑧嘉数	311
⑥岡	321
⑤白崎浩	411
②戸柱	510
DH柴田	420
⑨江越	511
⑦中谷	000
7山下	400
③増本	410
計	36104

6回に同点となる二点本塁打を浴び、悔しがる井口



4回に勝ち越しとなる適時二塁打を放つ江越

最後は失策に泣き、勝利をつかめなかった。小椋正博監督の「2つ落とししたら優勝はない。もう下に向かっていくだけ」と語るように早くもチームは窮地に立たされた。試合が動いたのも失策からだ。2回先発・井口は走者を背負うと左前に安打を打たれる。これを左翼手・中谷泰周(市3)が判断を誤り、後ろに逸らす。これが長打となり、先制を許す。さらに続く打者にも左越え

▽二塁打=江越、岡

	回	打安責
井口	7	33104
小倉	1/3	100
●白崎勇	21/3	910

二塁打を浴び1点を失う。それでも08年夏の甲子園V腕・福島投手から3回に同点とする4回には江越大賀(法1)の左越適時二塁打、5回には白崎浩之の左犠飛で差を2点とする。前日、2安打に抑えられたうっぶんを晴らすことができた。ところが井口が6回に痛恨の2点本塁打を浴び、試合が振り出しに戻る。両者無得点のまま延長に進むと10回裏、2死から白崎勇気(営4)が四球で走者を出し、盗塁を許す。相手打者を三星ゴロに打ち取るが白崎浩之一塁へ悪送球。思わぬ形で試合が決まってしまった。「僕のせいで負けてしまいました。すみません」と自身の失策を嘆いた。それでも主将の岡将吾(法

【下】岡の同点となる中前適時打で生還する小林



4)は「ミスした方が負ける。でもそれを責めることはない。雰囲気ですらなってしまう」とかばった。次戦は好投手を擁する亜大。ミスを防ぎ春に2戦完封を喫してしまった悔しさを晴らしたい。



5回に白崎浩之の左犠飛で4点目のホームを踏む嘉数

写真 松井智子
服部萌香
水出綾香
文 野木隼介